

1 研究主題 「小・中の連携した家庭科授業のあり方」

2 研究の概要と実際

(1) 佐渡の食材を使った簡単おやつ作り (実習)

日時 10月14日(水) 15:00~16:40

会場 あいぽーと佐渡 調理室

指導者 モンブラン(和・洋菓子店)

代表 渡辺 新一 様



〈実習内容〉

- ・佐渡産のリンゴを使ったアップルパイ作り
- ・佐渡産米粉を使ったクレープ作り(おけさ柿添え)



〔アップルパイ〕



〔米粉クレープ〕

(2) 「小・中の連携した授業の在り方」について (講話)

日時 12月9日(水) 15:30~16:40

会場 あいぽーと佐渡 会議室

指導者 新潟市立小須戸中学校

教頭 逸見 東子 様



〈講話内容〉

- 1 「小学習指導要領実施状況調査」の結果から
- 2 学習指導要領 小学校家庭と中学校技術・家庭
家庭分野の関連
 - ・目標や内容項目についての系統性について
 - ・食材, 調理法, 衣服の手入れの仕方の違いなど
- 3 米飯とみそ汁の基礎的・基本的な事項
- 4 演習



〔演習 米飯とみそ汁について〕

3 成果

(1) 佐渡の食材を使った簡単おやつ作り

- 佐渡産の食材を使って, アップルパイと米粉のクレープを作った。市販のパイシートやスポンジを使用したことで, 小学生でも調理可能な内容であった。また, 地元の食材の活用法を学ぶことができたことは, 大変有効だった。

(2) 「小・中の連携した授業の在り方」について

- 「小学校学習指導要領実施状況調査」の結果から, 4つの指導上の改善点について講義していただいた。日常生活で活用する能力の育成や能力を高める上での基礎・基本の習得など, 指導のポイントとなる内容を確認することができた。
- 小・中それぞれの学習指導要領を対比させて見ることによって, 小学校で学習したことが中学校ではどのように発展していくのか, 理解を深めることができた。